

# 企画案内

兵庫県保険医協会尼崎支部・医科歯科連携研究会

ぜひご参加ください!!

# 糖尿病と歯周病

日時 6月6日(土) 14時30分～16時30分

会場 尼崎市中小企業センター 401号室

TEL: 06-6488-9501(下図参照、阪神尼崎駅より徒歩5分)

講師 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科

学科長・教授 **野村 慶雄** 先生

尼崎武庫之荘・はせがわ内科 院長 **長谷川 吉昭** 先生

全身と口腔の健康は密接に関わっており、治療には医科・歯科の連携が欠かせません。特に糖尿病と歯周病は、糖尿病になると歯周病に罹患しやすくなり、逆に歯周病が糖尿病を悪化させるなど密接な関係が明らかになりつつあります。

今回の研究会では、歯科分野より歯周病をご専門とされる野村慶雄先生と、医科分野より内科を開業しておられる長谷川吉昭先生に、歯周病と糖尿病の関係や予防法、医科歯科連携に求めることを、それぞれお話いただきます。



上記の通り臨床研究会を開催します。多数の先生方のご参加をお待ちしております。

【協会尼崎支部副支部長 綿谷 茂樹】

※お問い合わせは尼崎支部担当事務局 (Tel 078-393-1801) 小西・小川・荒川・納富まで。

【お申し込み】 FAX: 078-393-1802

尼崎支部研究会(6/6)「糖尿病と歯周病」に( )人参加します。

地区( ) 医療機関名( )

氏名( ) ( )

電話番号( ) FAX番号( )

# 兵庫県保険医協会

# 尼崎支部ニュース

299号

2009年5月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内  
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

## すぐ実践したくなる楽しい研修

職員接遇研修会「患者さんの接遇心得とクレーム対応」を開催



接遇の心得を話す水原道子氏

尼崎支部は5月16日、尼崎市中小企業センターで職員接遇研修会を開催した。大手前短期大学准教授の水原道子氏が『『ようこそ』の心で言葉を届けよう』と題して講演し、医師や看護師、受付事務など定員いっぱいの60人が参加した。

冒頭には高田循環器内科院長の高田正先生があいさつし「医療分野は接遇がもっとも遅れている分野。今日は実際に役立つ話を聞けるので、明日、明後日から仕事に役立ててほしい」と参加者を激励した。

水原氏は講演の冒頭で「患者さんの55%が接遇で医療機関を選ぶ」というデータを紹介し、職員の接遇の重要性を強調。その上で、

挨拶や電話の応対、クレーム対応などについて、自身の体験も話しながら具体的に説明した。ケーススタディや実践を交えた講演で、参加者からは好評だった。



あいさつする高田先生

### 参加者からの声



参加者はお互いにあいさつを練習

・「笑顔」の重要性と「受付」の重要性を再認識しました。いわゆる「口コミ」につながる言葉、態度等参考になりました。(医師)

・日頃心がけているつもりでしたが、改めて温かい心と行動で一人ひとりに向き合うという言葉で初心にかえった気持ちです。(医療事務)

・最初から最後まで笑顔を絶やさず、とても分かりやすいお話で聞きやすかったです。もっとかたい研修のイメージがあったのですが、とても温かい心が伝わる2時間でした。教えていただいたこと、早速現場に反映させていい現場にしていきたいと思います。(看護師)

・とても素晴らしい研修会でした。「実践でやっているのに……」なんて気持ちがありました。とんだ思い上がりでした。月曜日からまたやり直します。(医療事務)

## 尼崎アスベスト訴訟第10回口頭弁論

## せめて一言謝罪を

4月24日、尼崎アスベスト訴訟の第10回弁論が神戸地裁で行われた。この日は新たな原告となった保井さん遺族の審理も開始され、90人の支援者が傍聴席を埋めた。

「ただそこに住んでいただけで、中皮腫というわけのわからない病気で命を奪われる理不尽さをわかってほしい」、「せめて一言謝罪がほしい」。原告の保井安雄氏、保井祥子氏が意見陳述し、アスベスト被害の悲惨な実態を訴えた。



アスベスト被害を訴える保井さん

今後は、これまでも争点になってきたクボタの不法行為や国が必要な立法や規制を怠ったことなどが争われる。

また、今回は石綿の危険性についての医学的知見について、弁護団が国に再反論した。国は、原告側の議論は石綿を使用する業務に従事することで暴露する職業性曝露についての主張であり、環境曝露についての本件とは関係がないと反論している。これに対し弁護団は、職業性曝露の知見が確立されれば近隣での環境曝露の知見も当然成立するはずと再反論。国内外の研究論文などを示しながら、改めて知見の形成について詳細に指摘した。

弁論後の5月26日には小田地区会館でアスベスト被害相談会を開催。中皮腫や肺がんなど、アスベストによる被害の可能性のある相談が4件寄せられ、今後調査を進めることとなった。



支援者でいっぱいになった弁論後の集會会場

## 県立塚口病院の存続と充実を求める会・街頭宣伝

## 県知事へはがき送ろう

協会尼崎支部も加盟する「県立塚口病院の存続と充実を求める会」は4月19日、尼崎・阪急塚口駅前街頭宣伝を行い、野村医院理事長の山本繁先生(協会会員)ら15人が参加。県知事など宛の要請はがきを送るよう住民に協力を呼びかけた。

この要請はがきは、塚口病院と尼崎病院の統合再編方針の再検討、塚口病院への麻酔医配置などを求めるもの。「病院はやっぱりなくなったらあかん」、「何とかがんばって」と通行人から切実な声が出され、要請はがき約300枚がなくなった。

7月の県知事選挙を前に、同会は塚口病院前で宣伝を行うなど活動しており、これまで2千枚以上の要請はがきが配布されている。



次々と通行人がはがきを持っていった

## 第424回 幹事会だより

4月22日(水) 於 武庫之荘・Giancald

- 尼崎支部の会員数と組織率  
現在 医科373人(81.6%)、歯科124人(47.3%)
- 情勢と運動対策  
要介護認定基準変更など、介護保険制度の問題について意見交換を行った。
- 当面の支部活動  
6/6 医科歯科連携研究会「糖尿病と歯周病」、7/18 第38回支部総会企画「医療崩壊からの脱出」など。
- 次回の幹事会  
5月29日(金)20時から「竹葉」(阪急塚口駅徒歩5分)で開催。会員の先生はどなたでもご参加いただけます。お問い合わせはTEL 078-393-1817 小川まで。

## ◆支部担当事務局が交代します。

「お世話になりました」 退任：小川、納富、小西  
「よろしくご指導下さい」 着任：長澤、駒ヶ嶺(コマガミネ)、高山  
留任：荒川

## 支部総会予告

兵庫県保険医協会第38回尼崎支部総会 記念シンポジウム

## 医療崩壊からの脱出

～ 公的病院が地域医療に果たすべき役割

日 時：7月18日(土) 15:00～17:00

会 場：尼崎市労働福祉会館 中ホール (TEL 06-6481-4561)

参加費：無料 \*終了後、懇親会を開催します

## パネル討論(予定)

- ① 「公立病院改革と地域医療」  
邊見 公雄 先生(赤穂市民病院名誉院長・全国自治体病院協議会会長)
- ② 「医師会の取り組み」  
高原 周治 先生(高原クリニック院長・尼崎市医師会会長)
- ③ 「尼崎の救急医療の現状」  
松本 強 先生(合志病院副院長)
- ④ 「開業医の立場から」  
綿谷 茂樹 先生(わたや整形外科院長・協会尼崎支部副支部長)

コーディネーター 西原 弘道 先生(西原クリニック院長・協会尼崎支部幹事)

お問い合わせは TEL:078-393-1801 尼崎支部担当事務局まで